

私たちは、
「ありがとう」を贈り、「ありがとう」を頂き、
「ありがとう」であふれる空間を作り続けます。

豊川さくら病院 理念

院長からのご挨拶

2025年4月1日より院長を拝命いたしました、
太田茂安と申します。

私は浜松医科大学第二外科教室在籍中に当院の前身である礒病院とのご縁を得て、12年前に当院へ赴任しました。以来、東三河の地域医療に少しでも貢献できるようにと努力して参りました。今回新院長としてその思いをますます強くしております。

当院は2024年10月に全病棟を回復期リハビリテーション病棟に転換しました。外来機能も含めて、よりリハビリテーションに特化した病院へと機能再編しています。

回復期リハビリテーション病棟の役割とは、急性期治療を経過した患者さんが生活の場に戻るための医療と支援を提供することにあると考えています。リハビリテーション医療により、日常生活に関わる機能の回復を図ります。同時に、退院後の生活が安定したものとなるように家族指導、環境調整、介護サービス調整などの支援を行います。

当院を退院された患者さんが生活の場に戻った時に「豊川さくら病院でリハビリテーションを受けて良かった」と思ってもらえるような医療、支援を提供出来るように努力していききたいと思います。



医局 医師 院長 太田 茂安

また外来では成人のリハビリテーションだけではなく、小児発達リハビリテーションを提供しており、お子さんの発達の促進を支援しております。

私たちは、「ありがとう」を贈り、「ありがとう」を頂き、「ありがとう」であふれる空間を作り続けます。

これが豊川さくら病院の理念です。患者さんやご家族から「ありがとう」の言葉を頂けるような医療を提供できるように努力していきます。また我々職員同士もお互いを尊重し、「ありがとう」と言い合えるような職場環境を目指していきます。

これからも豊川さくら病院に対するご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

ENJOY! 行事食



栄養科 管理栄養士

牧原 萌

3月3日に提供した ひなまつり の行事食の紹介です。

献立：ちらし寿司、茶碗蒸し、みそ汁、3色ババロア

彩りの良いちらし寿司、みそ汁の花魁、3色ババロアで春の訪れを感じただけのお食事を提供しました。茶碗蒸しに喜ばれる患者様も多かったようです。4月4日にも小エビの炊き込みごはん、甘酒など春らしいメニューの食事の提供も行いました。入院中も季節を感じていただけるような食事の提供を行えるよう、委託給食会社の方と協力していきます。



健康増進法の制定ならびに当院の方針により、禁煙のご理解・ご協力をお願いしています！

(左は公益財団法人結核予防会 作成のポスターです)

リハビリテーション室だより

リハビリテーション部

理学療法士 室長 小田 桂嗣



令和6年10月1日より、当院は全床回復期リハビリテーション病棟となりました。

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や大腿骨骨折などの患者様に対し、在宅復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを行います。

当院には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーションの専門職が総勢70名以上在籍しており、入院された患者様に対して、365日体制で1日最大3時間の、一人一人に合わせたリハビリテーションを提供します。

引き続き、当院職員は患者様に温かく寄り添い、身体の回復を最大限に引き出し、住み慣れた地域でその人らしく生き生きと暮らしていけるよう、この地域にとってなくてはならない存在を目指して邁進してまいります。

地域連携室 社会福祉士 芥川 麻利愛

当院には地域連携室という部署があります。退院調整看護師2名、社会福祉士4名の計6名が在籍し、入院いただくときと、退院後の生活に関する相談を主に受け付けています。

病気や怪我により、今までと同じ生活を送ることが困難となり、退院後の生活について不安や心配を抱えている方も多いかと思ひます。

そういった患者さまやご家族様のお気持ちに寄り合いながらこれからの人生をどのように過ごしていきたいかを一緒に考える際には地域のケアマネージャーや施設等と連携を図りながら安心して生活を送れるように支援させていただければと思ひます。

今後の生活についてお困り事がございましたら、是非地域連携室にご相談ください。

地域連携室 より



豊川さくら病院 基本方針

1. 心通う医療や福祉を通じて、心と身体の回復を図れるよう一緒に歩みます。
2. 生活の中で必要な活動に結び付ける回復リハビリテーションを提供することにより、患者様の日常生活機能が向上するように努めます。
3. 社会生活の中で、人が人らしく生きて暮らしていくために、その人らしい社会生活行為の継続が可能となるように努めます。
4. 多職種協働により質の高い医療及び福祉を提供し、患者様利用者様の生活支援に努めます。
5. 地域の医療・福祉関連施設と連携し、それにより生み出される医療及び福祉を、患者様に向けて全力で提供できるように努めます。
6. 私たちと患者様との回復リハビリテーションによる共生の下には、「ありがとう」があることを常に忘れません。